

様式第 3

会 議 録

会 議 名	第 5 回野田市鈴木貫太郎記念館再建基本計画策定専門委員会 会議
議題及び議題毎の 公開又は非公開の別	鈴木貫太郎記念館再建基本計画（素案）に対する意見募集 の結果等について（公開）
日 時	令和 8 年 2 月 4 日（水） 午後 3 時 3 0 分から午後 4 時 2 5 分まで
場 所	市役所低層棟 4 階 委員会室
出 席 者 氏 名 (敬称略)	委員 菅根幸裕（議長）、下津谷達男、四柳隆、山本和也、岩岡 竜夫、櫻井良樹、筑井正
	職務上の意見等を伺うため出席を依頼した職員 染谷篤（教育長）、宮崎等（市史編さん担当）
	事務局 鈴木有（市長）、今村繁（副市長）、金子正道（市政推進 室長）、野本勝大（市政推進室主任主査）、笹川知樹（市 政推進室主任主事）
欠 席 委 員 氏 名	澤田修
傍 聴 者	1 名
議 事	第 5 回鈴木貫太郎記念館再建基本計画策定専門委員会議 の会議結果（概要）は、次のとおり。
市政推進室長	1 開会 会議の公開について、野田市では審議会等の会議に関す る要綱を定め会議の原則公開などの運用を行っている。本 日の会議は公開であり、1 名から傍聴の申出があり、許可 している旨を報告。 会議終了後は、会議資料、会議結果及び会議録につい

	<p>て、市HP、市役所行政資料コーナー等で公表する。会議録については、要点を記載した概要版とする。発言者の氏名を記載する形で事務局において作成し、各委員の確認後に公表する。</p> <p>配布した会議資料は、次第、資料1「野田市鈴木貫太郎記念館再建基本計画の素案に対する意見募集の結果について」、資料2「パブリックコメント手続における市民意見と市の考え方」、資料3「野田市鈴木貫太郎記念館再建基本計画（案）」となる。</p> <p>会議録作成のため録音・記録のほか、市報やホームページ等で使用するための写真撮影を行う。</p>
市長	<p>2 市長挨拶</p> <p>本日で5回目の会議となる。これまで4回にわたり、各項目の計画案について、専門的視点からご意見頂き感謝申し上げます。これまでの会議を踏まえ、まとめた計画の素案についてパブコメを行い、頂いた意見から基本計画案をまとめた。忌憚のないご意見を頂きたい。</p>
市政推進室長 議長	<p>議事の進行について、議長に依頼</p> <p>文化庁が博物館の望ましい基準を作成したが、博物館の活動について規定する内容となっている。この博物館も影響を受けるのではないかと危惧している。その中で良いものを作っていきたい。</p>
事務局	<p>3 議事</p> <p>議題「野田市鈴木貫太郎記念館再建基本計画（素案）に対する意見募集の結果等について」事務局に説明を求める。</p> <p>事務局より、資料1「野田市鈴木貫太郎記念館再建基本計画（素案）に対する意見募集の結果について」及び資料2「パブリックコメント手続における市民意見と市の考え</p>

	<p>方」から、頂いた意見の内容とそれに対する市の考え方について説明する。</p>
<p>議長</p>	<p>質問、意見はないか。</p>
<p>議長</p>	<p>野田市には、野田市郷土博物館と鈴木貫太郎記念館、関宿城博物館の3館ある。郷土博物館は野田市全体、鈴木貫太郎記念館は鈴木貫太郎に特化、関宿城は川の歴史を扱っている。そうすると、関宿藩をどこで取り扱うかという問題が生じる。関宿藩についてはどのように考えているか。</p>
<p>事務局</p>	<p>鈴木貫太郎記念館では、鈴木貫太郎自身が関宿藩の藩士の息子であるところから、貫太郎と関わりのある関宿藩士の鈴木家、倉持家については扱っていききたい。常設展示ではスペースが限られるため、企画展なども含めて扱っていききたい。関宿藩全体の取り扱いについては、関宿城博物館や野田市郷土博物館と協議していききたい。</p>
<p>議長</p>	<p>各家の資料群が、資料の性格によって、3館にばらばらに収蔵されることは避けてほしい。</p>
<p>下谷津委員</p>	<p>茨城県境町には関宿藩の資料はどれくらいあるのか。計画には出てこないが、写真資料や文書資料など、境町にある関宿藩に関する資料については調べているか。</p>
<p>事務局</p>	<p>現状、鈴木貫太郎に関わる資料については調査を行っている。茨城県立境高校では、鈴木貫太郎が校訓を作っている。関宿藩全体に関する資料については、現時点では把握できていない状況である。</p>
<p>市史編さん担当</p>	<p>市史編さん事業において、関宿藩については、境町の資料についても調査を実施している。関宿藩の資料の収集作業をしている。貫太郎関係では、旧関宿町が収集していた鈴木家の文書を市史編さん担当で引き継いで収蔵している。境町にある鈴木貫太郎関係の資料については調査していないが、鈴木貫太郎記念館の担当者が周辺調査を行っている。</p>

下谷津委員	水密構造を施すのにどれくらいの費用がかかるか。博物館の建設費用は20億と規定しているが、どれくらいの割合になるのか。
丹青社	概算ではあるが、水密扉の設置に2千万弱と見積もっている。
議長	登録博物館とあるのでデジタル化は必須である。意見の2、3は予算をつける必要がある。資料3「野田市鈴木貫太郎記念館再建基本計画（案）」P11にデジタル化に関する記載があるが、この内容で十分か。「資料の整理やデジタル化を図り、継続的な資料情報管理を推進します。」とあるが、博物館を造っていく上で、このあたりが一番弱くなる。このような基本的なところは後回しになりがちなので、確実に実施してほしい。
櫻井委員	<p>関宿藩領は、境町から千葉県柏市までであった。関宿藩を表に出す場合、他の自治体との連携が重要となる。</p> <p>鈴木貫太郎記念館においては、ほかの海軍軍人や首相経験者、高官レベルの人物の個人記念館とのネットワークづくりも重要かと思われる。</p>
議長	鈴木貫太郎のバックボーン及び導入として、関宿藩はどういう藩なのかということに触れておく必要がある。
岩岡委員	館長室が必要だという意見に対し、応接室として回答しているが、館長室と応接室は別のものとイメージしている。両者についてどのように考えているのか。
市政推進室長	大まかな考えとしては、応接セットを備えた館長室を考えている。
岩岡委員	面積は増えるという認識で良いか。
市政推進室長	第3回委員会では、延床面積1,000㎡程度の施設を目指していたが、委員会における応接室の必要性に関する議論等を踏まえ、延床面積1,100㎡程度に増やしている。

議長	館長室と応接室を兼ねることは県立レベルの博物館でもある。ただし、色々な物品を置く、物置部屋になるようなことは避けていただきたい。
議長	インフラ整備が重要である。まめバスは1日何本運行する予定か。
市政推進室長	野田市は南北に20km以上ある。鈴木貫太郎記念館は当市の最北端である。現在のまめバスのルートを使って野田市側から鈴木貫太郎記念館に行くには、2時間近くを要する。既存の公共交通の場合は、東武野田線川間駅から朝日バス又は東武伊勢崎線東武動物公園駅から朝日バスで来るのが通常ルートである。新たなバス路線を増やすということは難しいが、鈴木貫太郎記念館に限らず、関宿地域の名所を巡る企画も今後は考えていかなければならない。
議長	<p>せっかく建設するので、多くの方に来てもらいたい。バスで30分というのは何とかならないかと思う。</p> <p>都市部から来てもらうには、車を持たない人にも対応できるようにする必要がある。</p>
下谷津委員	関宿城博物館は車で来る人が多いのか、バスなど公共交通で来るのか。また、入館者数はどのくらいか。
四柳委員	約10万人強の来場者となっており、推移としては微増の状況。車かバスかでいうと、圧倒的に車が多い。特殊な点としては、関宿城博物館への堤防上の道路がサイクリングコースになっているので、自転車で通行中に、休憩場所として寄っていく人も多いと聞く。
議長	<p>鴨川市郷土資料館は、JRに自転車専用列車をお願いして、最寄り駅から自転車で来てもらうといった取組をしている。様々な方から意見を聞いて、便利なアクセスを考えてもらいたい。</p> <p>関宿城博物館に来館している10万人に、その足で鈴木貫太郎記念館に来てもらえるような連携も考えられる。</p>

市史編さん担当	<p>以前、守谷のビール工場、茨城県立自然博物館、関宿城博物館を巡るバスルートがあり団体で来ていた。鈴木貫太郎記念館で受入体制ができれば、鈴木貫太郎記念館に寄ったり、買い物をしたりしてもらえると良い。</p>
市長	<p>以前は関宿城に来るはとバスのコースがあった。バス会社に相談したところ、鈴木貫太郎記念館や関宿城、近隣の寺社をめぐり、もの知りしょうゆ館などの工場見学をするコースを設けると、東京からのお客さんが呼べるということだった。鈴木貫太郎記念館と（仮称）川の駅ができれば、そのような形でお客さんの呼び込みができると考えている。</p>
議長	<p>意見の9では、野田市郷土博物館が指定管理者になってから数年で学芸員が退職していることについて、ネガティブなこととして捉えられている。</p> <p>今後、民間による運営の導入も必要になってくる。しかし、学芸員については、継続的な研究を続けられるよう定着した雇用を望む。</p> <p>運営方式には様々あるので、今後考えてほしい。</p>
四柳委員	<p>デジタルの件については、基本計画ではざっくりした言及の方がむしろ良いと考えられる。デジタルは日進月歩である。デジタル資料の扱いなどについては、5年更新で考えていく方が良いと考える。</p>
筑井委員	<p>資料3「野田市鈴木貫太郎記念館再建基本計画（案）」P17に「③貫太郎ゆかりの地や周辺市町村との連携」や「④周遊コース」とある。鈴木貫太郎記念館の近くに、貫太郎が幼少の頃溺れたという神橋がある。</p> <p>関宿には、貫太郎の小さい頃の史跡はそこしかない。そのあたりを貫太郎ゆかりの地として整備していただくと良い。</p> <p>鈴木貫太郎記念館は休館中だが、月に1～2度、10～</p>

	<p>20名の団体が来館する。そのような人たちは、半年前に予約してくる。工事スケジュールなどが分かれば、教えてほしい。</p>
<p>市政推進室長</p>	<p>貫太郎ゆかりの地については、後ほどご相談いただき、進めていきたい。</p>
	<p>現鈴木貫太郎記念館の解体時期については未定である。来館者の迷惑にならないよう、できるだけ早く告知させていただく。</p>
<p>議長</p>	<p>資料3「野田市鈴木貫太郎記念館再建基本計画（案）」P40にあるように、博物館法上、公立博物館は入館料を取れないことになっている。入館料について議論はしているか。</p>
<p>市政推進室長</p>	<p>まだ白紙である。</p>
<p>山本委員</p>	<p>ランニングコストはどれくらいかかるのか。</p>
<p>議長</p>	<p>事務局で素案があれば、回答いただきたい。</p>
<p>市政推進室長</p>	<p>ライフサイクルコストを抑えられるようにしていきたいと考えている。年間管理費の具体的な金額は、現時点では設備等、未定な部分もあるため算出できていないが、いずれにしても最大限コストがかからないものにしていく。</p>
<p>市長</p>	<p>人件費がかなりかかるかと思われる。あとは、光熱水費、燃料費などもかなりかかると考えられる。まだ具体的な運営方式が決まっていないので、ランニングコストを把握するのは難しい。</p>
<p>議長</p>	<p>相当かかると思っていたのが良い。建設施工者が指定管理など、開館後も携わっていくという方法もある。</p> <p>しかし、大切なのは資料である。資料が滅失したり、傷んだりしないように、資料に関する費用は削らないでいただきたい。お金がなくて空調を切ってしまうといったことにはならないようにしてほしい。</p>

岩岡委員

現在の記念館の来館者はどのような方か、また、どのような目的で来ているのか。

筑井委員

主に老人クラブ（いきいきクラブ）の方が、関宿城とセットで来館するケースが多い。境町の道の駅で休憩して、関宿城と鈴木貫太郎記念館にも立ち寄るといった行程。

人数が多いときには2人体制でガイドしている。あとは、地域史研究会の方が10人前後で、関宿城とセットで来館するケースが多く見られる。

議長

シニア層が多いようだが、資料3「野田市鈴木貫太郎記念館再建基本計画（案）」P17に「つどう」とあるのは、博物館の付加価値として様々な機能を備え、若い人も集える場所とすることを狙っていると考える。

郷土愛を育む視点で、物産の充実だけではなく、野田市の人々が郷土の偉人鈴木貫太郎についてもっと知ってもらおうということを忘れてはならない。より多くの人に知ってもらうために「つどう」要素を付加価値として付けていくという構造だろう。郷土愛を基本にすることは忘れないでほしい。

市長

鈴木貫太郎については、野田市内の各学校で授業として取りあげている。鈴木貫太郎について知っているかと聞くと、以前は関宿地域の子どものしか知らなかった。今は、野田市内の他の学校の子どものにも知ってもらえるようになった。

鈴木貫太郎記念館のリニューアルによって、学校の学習で見学機会を持つことが可能になる。これはある意味「つどう」に繋がるのではないか。子ども達が感動すれば家で話すきっかけとなり、家族で来たりなどと広がっていく。

議長

野田市郷土博物館は教育委員会の所管で、鈴木貫太郎記念館の再建は市政推進室の所管となっている。県が所管する関宿城も含め、お互いに密接な関係を築いていってほし

